神石高原 Basket NEWS

7月号からバスケットニュースを始めます。みなさんからのお便りをお待ちしています。

頑張ってます

From Readers

「神石踊り娘隊きらきら星」

五月五日（祝）、フラワーフェスティバルに出場しました。

四十名の踊り娘隊が平和大通りをパレードし、ステージでも大きな声援を受けました。

今回の出場を大きな力に替えて、さらに大きな舞台を目指します。

代表　村上　俊一

From Readers

ギネス・ワールド・レコードに挑戦！

四月二十一日（木）愛知県名古屋市で、一〇三四名が一斉に大正琴でのアンサンブル演奏をし、ギネスに挑戦するという大会がありました。

町内では、琴修会大正琴愛好者の中岡政枝さん、福島早苗さん、行則春子さん（三名とも父木野）が参加されました。

From Readers

ラジコンヘリで全国へ

高畑収司さん（下豊松）が四月に行われた中四国大会で優勝し、二年連続でグランドファイナルへ出場します。F3C（一番上の）クラスで、十月に大会が行われます。

みなさん、応援しましょう。

有木　橋本輝久さん

神石高原のいきいき農業

6月

農林局地域営農課　☎084-921-1311

【基礎講座】

気　象

六月は梅雨時期です。特に梅雨の後半には、ムシ暑さがどんどん増してきます。作物にとっては、生育が軟弱になり、病気などが発生しやすくなります。

【今月の作付け】

マメ類…大豆、小豆、いんげんまめ、えだまめなど

葉菜類…雨除け栽培で、ほうれんそう、こまつな、チンゲンサイなど

その他…さつまいも、くわい、セルリー、アスパラガス、しょうが、モロヘイヤ

【今月のポイント】

水　稲

《分けつ期の水管理》

稲の茎数が一株当たりの目標茎数二十本～二十五本が確保できるまでを有効分けつ期と言います。

有効分けつ期には、水が減って土が見えたら次ぎの水を湛める、間断かんがいを続けましょう。

分けつの目標茎数が確保できたころからは、時々落水しながら中干しを始めましょう。中干しは、稲の根を健全に保たせるための重要な管理です。

《葉いもちの防除》

梅雨の後半には、葉イモチが発生しやすくなりますので、注意し見つけたらすぐに防除しましょう。

大　豆

《土寄せ、摘芯》

大豆の播種から一カ月後ぐらいが、土寄せ作業を行う適期です。

また、丹波黒大豆では主枝の摘芯を本葉5枚で行いましょう。そうすることで側枝を伸長させ、着果することが黒大豆の増収に繋がります。

野　菜

《果菜類の着果》

トマト、すいかなどの果菜類は、一番大切な着果期から果実肥大期になります。トマト、なすなどはホルモン剤を使用し、すいか、かぼちゃなどは人工交配をし、適正な着果量に仕上げましょう。また、果実が着果するまで肥料を控えている場合は、着果を確認してから少量づつ追肥を始めましょう。

《病害虫防除》

梅雨時期、キクは白さび病が要注意です。葉が濡れた状態が続くと一気に広がるので、下葉の裏に白色の斑点が見えたら、すぐに葉を取り除いて防除しましょう。

また、発生する前に予防的に防除することも重要です。